

研究課題名：	全自動遺伝子解析装置 Smart gene を用いた <i>Mycoplasma pneumoniae</i> 核酸同定およびマクロライド耐性遺伝子検出の性能評価
所属(診療科等)：	公立昭和病院 臨床検査科
研究責任者(職名)：	横沢 隆行 (担当係長)
研究期間：	2019年4月5日～2020年12月31日
研究目的と意義：	<p><i>Mycoplasma pneumoniae</i> は小児から高齢者に至るまで幅広い年齢層で感染を引き起こし、気管支炎や肺炎の原因となる。原因菌の検出には LAMP (Loop-Mediated Isothermal Amplification) 法による遺伝子検出が広く行われている。一般病院では煩雑な検体抽出法であることから、迅速対応に馴染まないのが現状である。また、近年ではマクロライド耐性の <i>M. pneumoniae</i> により抗菌薬が奏効せず重症化する例もみられる。今回新たに販売された Smart gene (株式会社ミズホメディー) を用いた <i>M. pneumoniae</i> 検出は、全自動で抽出が行えることで迅速に測定出来、マクロライド耐性情報も同時に判別可能となる。本機器の検討からその有用性を評価することが目的である。</p> <p>Smart gene による測定が可能となることで、TAT (Turn Around Time) の向上に貢献出来、適切な抗菌薬治療につながると考える。</p>
研究内容：	<ul style="list-style-type: none"> ●対象となる患者さん 2012年10月31日～2019年2月28日の間に当院でマイコプラズマ (LAMP 法) の検査を受けた患者 ●利用するカルテ情報 【患者基本情報】 <i>Mycoplasma pneumoniae</i> による感染症の有無、使用抗菌薬、 抗菌薬変更の有無 【検査データ】 マイコプラズマ (LAMP 法) の検査結果 ●研究方法 当院において、2012年10月1日～2019年2月28日の間に <i>M. pneumoniae</i> の LAMP 法による検査を受けた患者由来の保存検体を用いて、Smart gene での測定を行う。陽性となった検体については患者診療情報から、使用抗菌薬および抗菌薬変更の有無を調査し、マクロライド耐性情報との検証を行う。 ●利用する研究機関の範囲 公立昭和病院
問い合わせ先：	<p>【研究担当者】 氏名：横沢 隆行 (臨床検査科・臨床検査技師) 住所：小平市花小金井8丁目1番1号 電話：042 (461) 0052 (代表) FAX：042 (464) 7912 【ご意見・相談窓口】 (臨床研究・診療内容に関するものは除く) 総務課 042 (461) 0052 内線 2247 受付時間：月～金 9:00～17:00 (祝・祭日を除く)</p>